

ノロウイルスをうたがう**症状** 吐き気、おう吐、下痢、発熱 等

ノロウイルスの**感染経路**

- ・汚染されたドアノブなどを介して感染
- ・感染者の吐物の飛沫から感染
- ・乾燥したウイルスが空気中を漂って感染



<https://www.youtube.com/watch?v=OZWRv6aYnWo>

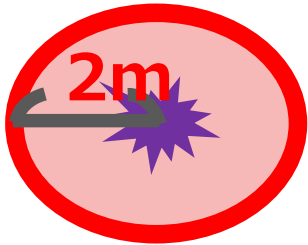
詳しい処理手順が
10分の動画でわかります

吐物処理の手順

安全に処理して
利用者も職員も感染からまもる

① 汚染区域の認識

吐物の中心から**半径 2 m**
の範囲が汚染区域



② 処理セット準備

ほかの職員と連携して
処理セットを現場に準備



※原液濃度5~6%の場合

③ 換気

空気が流れる方向に
注意して換気をする



④ 個人防護具



- ・キャップ
 - ・マスク
 - ・ゴム手袋(2重)
 - ・ガウン
 - ・シューズカバー
- ※サイズがあうものを使う

⑤ 利用者の移動

靴底のウイルスを消毒してから別室へ



⑥ 吐物除去

外側から内側へ
ふきとる



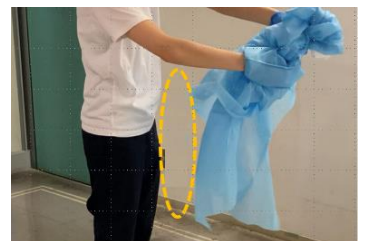
⑦ 消毒

半径 2 mの範囲を
10分間消毒



⑧ 脱衣

中表で体から離して
ガウンを脱ぐ



ノロウイルスの特徴

- ・同じ人が何度も感染することがある
- ・ワクチンがないため、感染経路の遮断が重要
- ・下痢などの症状がなくなっても、1週間から1か月程度便中にウイルスが排出される
- ・下痢止めの薬は回復を遅らせることがあるので、自己判断で使用するべきではない

おむつの処理手順

1. 使い捨てゴム手袋、マスク、ガウンを着用
2. おむつ交換は決められた場所で行い、おむつ交換シートは共用せず1人ごとに交換する
3. 汚れたおむつは、おむつ交換シートごと速やかに便を包み込み、ビニール袋に入れ、汚物が浸る量の0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液を入れ、密封して捨てる
4. 手袋を外してビニール袋に密封して捨てる

便や吐物で汚れたリネン類の処理手順

1. 使い捨てゴム手袋、マスク、ガウンを着用
 2. 付着した便や吐物に含まれるウイルスが飛び散らないように拭き取り、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いを行う。このとき、しぶきを吸い込まないように注意する
 3. 下洗いしたリネン類の消毒は85℃、1分以上の熱水洗濯を行う
- ※熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液で30分浸漬する。その後十分にすすぎを行い、高温の乾燥機などを使用する
- ※布団などすぐに洗濯できないものは、部分洗いをしてよく乾燥させ、加熱消毒を行う
- スチームアイロンを用いる場合は、1か所当たり2分程度の加熱を行う
- 布団乾燥機の場合は50℃以上30分間の過熱が必要だが、家庭用布団乾燥機では十分な消毒効果が得られない場合がある
- ※ドライヤーは乾燥したウイルスを拡散する恐れがあるので使用しない
- ※使用した洗い場は0.02～0.05%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒する

感染者の居室や食器の消毒

- ・トイレのドアノブ、手洗い場、手すりなどは、0.02～0.05%次亜塩素酸ナトリウム消毒液で拭き取りを行い、10分後に水拭きを行う
- ※塩素系漂白剤は金属腐食性がある
- ・吐物が付着した食器類や、おう吐の後うがいをした場所は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液に浸漬する

手洗いについて

- ・調理の前、食事の前、トイレに行った後、おう吐物や便の処理後は、石けんと流水による手洗いを必ず行う
- ・手洗いの後は、清潔に保管されたペーパータオルか、個人の清潔なタオルで手を拭く